

天皇杯・農林水産大臣賞

あむろ
阿室校区活性化対策委員会（鹿児島県宇検村）
うけんそん

住民が地域の将来に危機感をもち、地域一丸となった活動でI・Uターン者を増やし、地域全体のコミュニケーションを形成・醸成。

1. 地区の概要

宇検村は奄美大島の南西部に位置し、阿室校区は村の中心部から車で約1時間のところにある3集落からなる。古くから半農半漁で生計をたててきた地域で、現在の人口は約220人。

2. 団体の概要

阿室小中学校存続の危機に直面し、平成21年に集落の区長や有志等が本委員会を設立し、親子山村留学の取組を開始した。

現在の委員会メンバーは41人、平均年齢は47歳、6割が移住者。

3. 団体の取り組み

○平成22年以降、8年間で35世帯79人の移住者を受け入れ、小中学校は存続し、人口も220人前後を維持している。

○親子山村留学を受け入れる際には、住宅の確保や保護者の就業先の情報を収集、提供するとともに、移住者に居場所と出番と役割をつくり、地元住民との交流の場を積極的に設けている。

○移住者を地域農業の担い手に位置づけ、地域ぐるみで就農を支援し、移住者は亜熱帯気候を生かしたパッションフルーツ、フィンガーライム等を新規導入し、首都圏等へ販売している。

○途絶えかけていた在来ニンニクの生産、加工品等の特産品開発により、地域全体の所得向上につなげている。



地域ぐるみで空き家を改修



フィンガーライム等を新規導入



ニンニクを使ったパスタソースを開発